

熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2012

あかげ つるしげ 褐毛和種雄牛「鶴重」の選抜



【血統】

父 **鶴光重**
(高85)

祖父 第三光重
(繁殖29)

光重ET
(育高1)

くさふく☆
(高3414)

祖母 もりひさ
(育高620)

第二重光
(特級86)

しげもり
(1級45853)

母みつふじ☆☆
(繁殖10439)

祖父 **第三光丸**
(高71)

光武
(高58)

ふくまる
(高933)

祖母 ふくふじ
(育高429)

波丸
(高74)

ふくりゆう
(高3146)

問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている「肥後のあか牛」と呼ばれる和牛・褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

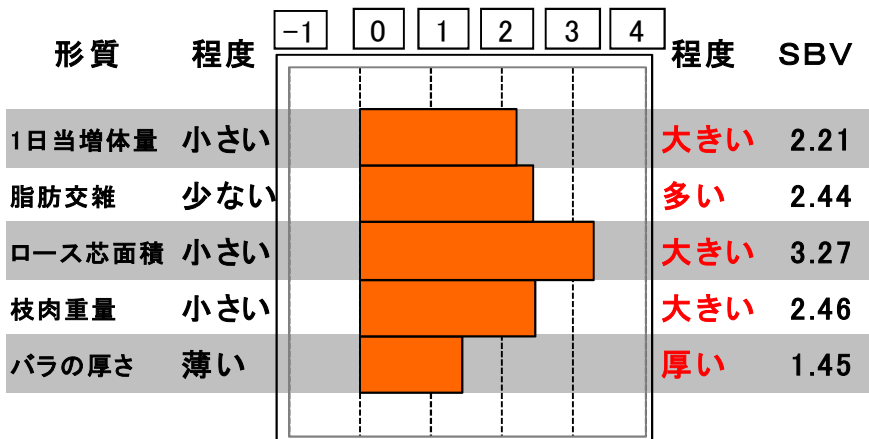
答 鶴光重後継牛として脂肪交雑はもちろん、枝肉重量、ロース芯面積も期待できる質量兼備の種雄牛です。

【現場後代検定成績】

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3・4等級率)
去勢 12 頭	25.0	469.9	48.3	7.1	3.2	71.8	3.17	66.7% (8/12)
雌 3 頭	25.7	441.5	58.0	6.5	3.0	73.1	3.00	66.7% (2/3)

【産子の枝肉】

性別	去勢
枝重	519.9kg
ロース	50cm ²
バラ厚	7.6cm
BMSNo.	4
等級	A-3



標準化育種価 (SBV) とは？

遺伝的な個体の特徴を明確にするため育種価 (遺伝的能力) を標準化した数値